

今日のトピック メキシコ中銀は3会合連続で0.75%の利上げ 米FRBのタカ派姿勢に追随、インフレ警戒を継続

ポイント1 政策金利は9.25%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は9月29日に金融政策決定会合を開き、政策金利を8.5%から9.25%に引き上げました。
- 中銀による利上げは11会合連続、0.75%の利上げは6月以降3会合連続となりました。高水準のインフレに加え、タカ派姿勢を鮮明にしている米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げに追随した格好です。

ポイント2 インフレ加速で次回会合でも大幅利上げは不可避か

- 8月のメキシコの消費者物価指数は前年同月比で8.7%の上昇になりました。また、変動の大きい食品やエネルギーを除くコア指数も8.1%の上昇となり、22年ぶりの高水準に加速しています。
- 加えて、米FRBが積極的な金融引き締めを続けていることから、弊社では次回11月の会合でも0.75%の利上げが実施され、政策金利は10%に引き上げられるものと予想しています。

今後の展開 経済は底堅く推移、利上げ継続でペソも堅調持続か

- メキシコの8月の失業率は3.5%と、引き続きコロナ禍前の水準を下回っています。また、同月の賃金上昇率は前年同月比で+11.5%と大きく上昇するなど、良好な雇用環境が消費や景気全般を下支えする状況が当面続きそうです。
- 外国為替市場では主要通貨に対してドル高が進んでいますが、良好な経済ファンダメンタルズや中銀の積極的な利上げ姿勢からメキシコペソは堅調推移が続いています。今後も米FRBの動向を意識した利上げ継続が見込まれることから、通貨ペソは1米ドル = 20ペソを中心とした堅調推移が続くものと予想しています。

ここもチェック! 2022年8月12日 メキシコ中銀が連続で0.75%の利上げ
2022年6月24日 メキシコ中銀が0.75%の利上げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

